

第11回日展

第5科（書） 特選授賞理由

題名 作者名
紅蓮の炎 赤澤 寧生

授賞理由

どっしり落ち着いた風に目を瞞る。線の充実、文字造型の安定、それらを通貫する呼吸、気力がしっとり紙面を押え、健康感が心地良い。多墨部と少墨部のバランスが作品に奥行きをも生んだ様だ。

み吉野 井上 邦子

授賞理由

「関戸本古今集」の古筆を基礎に、大胆な散らし書きで上部に空間（白）を際立たせ、立体感のある現代的な景色を作り出している。文字の粗密、墨色の変化、力強い線が相まって魅力的な作品となっている。

つくづく 小野 玲華

授賞理由

関戸本古今集を根底に、強靱でしなやかな線で書かれた二段構成の中字かな作品。上段は、大きくまた広がりのある作品。下段は、静かな湖面に映る木々を感じる。動と静のコントラストが見事に調和した作品。

猿聲詩 雲山 一弦

授賞理由

王羲之の楷書行書を基盤とし、高品格の作。線の抑揚や遅速の変化も見事。一点一面に無理や無駄が無いことも書格を高めている。押印の大胆な白文印も作品と調和。『書は散なり』の名言あり。心技一体の秀作。

范石湖詩 小林 千早

授賞理由

中国の碑面の研究を通し小字でまとめ、余り潤渴をつけず書いているが文字の大小を巧く付け心地のよいリズム感を出し碑面を意識したような表現になっていた。

題名 作者名
稲妻 谷口 成孝

授賞理由

連綿・余白・墨色の美しい、風趣に富んだ、懐抱の広がりを感じる秀作。行の揺らぎ、紙面の統一感も見事で、刻意の中に「書」のもつ一回性の魅力が備わり、豊かさと味わい、そして清涼感が見る者を魅了する。

蟠屈拏攪 辻 敬齋

授賞理由

南北朝の鑿印をベースにしながらも、漢印の要素と現代感覚を取り入れ、古典の再生にとどまらず、明るく重厚な作品に仕上げた。また落款まで気を配り、印箋全体を作品として完成させた秀作である。

高青邱詩 平樂 大龕

授賞理由

この作品の最大の魅力は強靱な線といえる。清末吳昌碩の風を追いながら直裁の表現を試み、古典の中に現代性を感じる作である。墨気が作者の気魄を醸し出し、見るものにそれが迫る快作となった。

斂蔵 宮本 耕成

授賞理由

北魏張猛龍碑で培った強靱な線感覚と構築性の強い文字構造が群を抜く。豊潤な墨量と変化のある線質で躍動感に満ち溢れる作品に仕上げた。鋭さだけでなく人間の優しさ・暖かさ迄が伝わって来るのが特徴だ。

莊巖 森上 洋光

授賞理由

この作で一番感銘を受けた点は、寸分違わぬ運筆の正確さと造形性である。文字の中に僅かな余白を残す手法は絶妙である。永年に亘り篆書に打ち込み、鍛錬を積み重ねられた技量の高さがこの作に結実したと言える。